

国際交流サロン

9月の「世界の民話と昔話」は「フランスの『眠れる森の美女』」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国 フランス
民話/昔話 眠れる森の美女
ストーリー

昔むかし、国王夫妻に女の子が生まれ、祝宴に12人の魔法使いが招待されました。そこに招待されなかった13人目の魔法使いが現れ、「王女は糸紡ぎの針が刺さって死ぬ」と呪いをかけました。12人目の魔法使いが「王女は糸紡ぎの針が刺さっても、百年の間眠るだけ」と呪いを変えました。

国王夫妻は国中の糸紡ぎの車を燃やしてしまい、王女は無事に育ちました。ところが15歳になって、お城の塔の中にいた老女の糸紡ぎの針が手に刺さって、王女は眠りに落ちます。呪いは城中にかけられ、茨が茂って誰も入れなくなりました。

100年後、近くの国の王子が森に狩りに訪れ、城の中で眠る王女を見つけました。王女は目を覚まし、二人はその日のうちに結婚して、幸せに暮らしました。

話が伝わった経緯

1600年代にフランスのペローの童話に民間伝承の昔話として紹介されました。グリム童話には「茨姫」として同じ物語があります。ディズニーの映画化により、世界中に広まりました。

【問合せ】一般社団法人 笠間市国際交流協会
 Tel.090-2761-8711 (木村 美枝子)

10月の国際交流情報

笠間市国際交流協会創立20周年式典と記念事業

日時：10月24日(土)
 午前9時30分～午後2時30分
 会場：笠間稲荷神社 稲光閣
 内容：式典・包丁式・パネルディスカッション(無料)、祝賀の交流会

笠間市国際交流協会は創立20周年を迎えました。10月と11月を20周年を祝う月間と定め、式典を執り行います。国際芸術の街づくり交流「外国人を魅了する和のおもてなし」をテーマに、平安時代から伝わる伝統儀式的包丁式が古式豊かに行われる優雅な世界をご堪能ください。また、笠間産の食材を地酒とともに笠間焼で味わう交流会も開催されます。詳細は、市内各所にあるチラシ・ポスター等をご覧ください。



☆10月の日本語教室の
 開講日
 10月3日(土)・10日(土)・
 17日(土) (友部公民館
 午前10時～)

◀笠間市AETとCIRの皆さんの国際交流協会と稲荷神社訪問

市長コラム

学生のふるさとへの思い

8月6日に東京銀座にある茨城県のアンテナショップ「茨城マルシェ」において、笠間市出身で首都圏の大学に在学している29名の学生との懇談会「U活プロジェクト」を開催しました。故郷を離れての思いや期待、Uターンに関しての意見を素直に話してもらい、笠間のまちづくりに役立てていきたいとの思いからでした。

2時間に及ぶ意見交換会では、就職情報も含めた市のさまざま



▲ U活プロジェクトの参加者たちと(東京銀座)

な情報についての提供、教育や子育て環境の充実など、次々と意見が出て、私が思っていた以上に故郷に対して皆さんが思いを寄せていることを強く感じました。しかし、アンケートでは、現時点で地元へ戻る意向の方は4名であり、残念に思いました。市としては、今回の意見を生かして、学生が卒業後に戻って来たいと思うまちづくり、環境づくりを進め、首都圏に残り活躍される方にも笠間がふるさとだと誇りに思ってもらいたいという思いから、なまちにしていきます。

10月には笠間市在住の大学生等を対象に懇談会を開催し、別な角度からの意見を求めてみたいと思います。銀座開催の際に苦労したのは、進学先を市では把握していないため、学生の皆さんに確実にお知らせするのが難しかったことです。より多くの若い世代の声を聞きたいので、学生へ連絡するための情報が欲しいです。

笠間市長
 山口伸樹